

大阪府のオオジュリンの標識情報 淀川の調査を中心に
久下直哉

大阪府下のオオジュリンの放鳥データ総数は 4793 羽である。

調査地別に見ると(表 1)、府下の南部である石川(河内長野市)と男里川(泉南市)の少数の放鳥数を除くと、いずれも淀川の河川敷の記録だった。放鳥総数の最も多いのは十三干潟(2420 羽)で、次いで鶉殿(2215 羽)だった。

表 1 には調査地の淀川河口からの距離を入れた。

放鳥数 4793 羽のうちリカバーは 116 羽(2.4%)、リターンは 74 羽(1.6%)、リピーターは 179 羽(3.7%)だった。リカバーが最も多かったのは鶉殿(63 羽)だった。リターンが最も多かったのは十三干潟(42 羽)だった。

表 2 に、大阪府内のオオジュリンのリカバーのうち府内の放鳥地を示した。鶉殿のリカバー 63 羽のうち 19 羽は十三干潟が放鳥地であった。一方、十三干潟の 47 羽のうち 3 羽は鶉殿が放鳥地だった。十三干潟と鶉殿は淀川に沿って約 23 km 離れている。

放鳥数を年度別に見ると、淀川における最初のオオジュリンへの標識は 1987 年豊里で行われた。鶉殿は 1996 年から 2004 年まで放鳥数が多く、十三干潟は中断時期もあったが、現在でも継続している。

放鳥数を月別に見ると、9 月から翌年 4 月まで標識している。最も多いのは 11 月で次に多いのは 12 月だった。

放鳥数を、雌雄・齢別(成・幼)別に見ると、表 3 のようになった。総放鳥数のうち雌雄かつ齢別識別ができた個体は 4730 羽(98.7%)だった。雌は約 6 割(58%)で、雄は約 4 割(42%)だった。幼鳥は約 7 割(69%)で、成鳥は約 3 割(31%)だった。

調査地名	淀川(km)		N	C	T	P
大阪府大阪市北区中津新十三大橋	6.8	左岸	13			
大阪府大阪市淀川区木川東十三干潟	8.1	右岸	2420	47	42	118
大阪府大阪市東淀川区豊里淀川河川敷	12.6	右岸	105	4		2
大阪府摂津市鳥飼西	20.2	右岸	5	1		1
大阪府高槻市前島	27.1	右岸	23	1		
大阪府高槻市道鶉町鶉殿淀川河川敷	31.0	右岸	2215	63	32	58
大阪府河内長野市汐の宮町石川河川敷	×		1			
大阪府泉南市男里川河口	×		11			
総計			4793	116	74	179
		N:新放鳥数		C:リカバー数	T:リターン数	P:リピーター数

回収地	放鳥地			総計
	鶉殿	十三干潟	大阪以外	
鶉殿		19	44	63
十三干潟	3		44	47
前島			1	1
鳥飼西		1		1
豊里			4	4
総計	3	20	93	116

表3 雌雄・成幼別放鳥数				
	F	M	計	%
A	824	648	1472	31.1
J(1W)	1903	1355	3258	68.9
計	2727	2003	4730	
%	57.7	42.3		
放鳥総計 4793羽のうち、雌雄かつ成幼識別個体				